



犯罪被害者等の支援

- 犯罪被害者等が置き去りにされることなく、一日も早く、再び平穏な暮らしを取り戻すことができるよう、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を推進する。

【提案要望先】 内閣府、国家公安委員会、警察庁

1. 提案・要望内容

(1) 民間の犯罪被害者等支援団体に対する財政支援制度の創設

- 支援団体の安定的・継続的な事業実施、相談体制の充実および人材育成のため、新たな財政支援制度の創設

(2) 「性犯罪・性暴力被害者支援交付金」の継続と必要額の確保

- “性暴力被害者のためのワンストップ支援センター”の継続的かつ安定的な運営のため、財政支援制度の継続および必要額の確保
- 医療費等公費負担事業の交付金の補助率を 1/3 から 1/2 に引き上げ

2. 提案・要望の理由

(1) 民間の犯罪被害者等支援団体に対する財政支援制度の創設

- 犯罪被害者等への支援は安定的・継続的に実施する必要があるが、民間支援団体の財政的基盤は脆弱。相談件数は右肩上がり増加しており、支援活動を行う相談員の負担が増大する中で、質の高い支援を行うためには相談体制の充実が必要。

(2) 「性犯罪・性暴力被害者支援のための交付金」の継続と必要額の確保

- 相談支援件数が年々増加し、相談支援従事者の負担も増大していることから、“性暴力被害者のためのワンストップ支援センター”を 24 時間 365 日ホットライン体制にて安定して運営していくためには、財政支援制度の継続および必要額の確保が不可欠。
- 被害者の居住地および被害の発生地に関わらず支援していくとともに、各都道府県に医療費等公費負担を促すため、被害者相談支援運営・機能強化等事業と同様に交付金の補助率を 1/3 から 1/2 に引き上げが必要。

(本県の取組状況と課題)

(1) 民間の犯罪被害者等支援団体に対する財政支援制度の創設



○公益社団法人おうみ犯罪被害者支援センター（OVSC）は、犯罪被害者支援を行う県内唯一の民間支援団体。

○令和4年度の相談支援件数は2,030件。過去8年間で約3倍に増加。

○相談員の高齢化も進んでいるため、人材の確保と育成も課題。

(2) 「性犯罪・性暴力被害者支援のための交付金」の継続と必要額の確保

○「性暴力被害者総合ケアワンストップびわ湖」（通称^{サトコ}SATOCO）は、本県の“性暴力被害者のためのワンストップ支援センター”として医療機関、民間支援団体、警察、県の4者が連携した取組。

○医療機関において24時間365日、6名の専門看護師（^{セイン}SANE）が対応。医療的措置を行う場合もあるほか、捜査機関やOVSCと連携し総合的な支援を実施。



○SATOCOの令和4年度の相談支援件数は1,873件。過去8年間で約5倍も増加し、被害者の低年齢化や被害の深刻化も進んでいる。



担当：総合企画部県民活動生活課
消費生活・安全なまちづくり係 TEL 077-528-3414